



## 気づき・考え・実行する

校長 山田 伸吾

5月8日（水）、日本赤十字指導講師の村山様をお迎えし、「青少年赤十字」通称 JRC（Junior Red Cross）の登録式を行いました。その様子を学校運営協議会委員の皆様にもご覧いただきました。

赤十字は、戦争で負傷兵が適切な治療を受けられずに苦しむ様子を目の当たりにしたアンリーデュナンが、敵味方関係なく困っている人、苦しんでいる人を助ける必要性があると『人道』の理念を強く訴え、1863年に創立されました。

さらに、第一次世界大戦後、若い世代に対して平和と人道の精神を教育することの重要性が叫ばれ、1919年にアメリカで青少年赤十字が創設されました。（日本の JRC の創設は1922年）その理念の一つに『気づき 考え 実行する』があります。

気づきとは：周囲の問題や困っている人々に対して気づきをもつこと。

考えとは：その問題に対してどのような行動が必要かを考えること。

実行するとは：実際に行動を起こして問題解決に貢献すること。

『人道』『気づき 考え 実行する』の理念は、グローバル化がさらに進み、多様な価値観が認められる共生社会を生きる子どもたちにとって、なくてはならない力を育ててくれます。

国府小学校では、共生社会を実現し、しなやかにたくましく未来を切り拓いてほしいという願いをもって「共につくる」を合言葉としました。正に JRC の精神は、国府小学校が目指すものと一致していると考えます。

講師の村山様からは、「おはよう」のあいさつや「一緒に遊ぼう」などの声掛け、掃除やみんなでするものの整理整頓など、小さな行動が誰かの幸せにつながることを教えていただきました。また、学校運営協議会では、「問われているのは大人の姿である」など、活発な意見交換がなされました。

家庭でも学校でも地域でも、自分だけでなく、みんなの幸せを考えて行動することが大切。そのことを大人が範を示し、子どもたちの小さな行動を褒めていくことの大切さを再認識できた機会となりました。



## < 5月の学校教育活動の様子 >

### 各学年の活動から

1学期が始まって約2か月が経とうとしています。子どもたちの思いや願いを基に生活科や総合的な学習の時間を進めてきているところです。国府地域のよさや自然の豊かさを感じる活動になるよう、工夫して取り組んでいます。

**2年生**

#### 生活科「野菜を植えよう」

今年、2年生は自分で選んだ野菜の苗や種を自分で買い、栽培を行うこととしました。

JAの方に、苗や種を学校にもってきてもらい買うところから始めます。

当日までに、2年生の畑を耕し、マルチシートを掛けて畑の準備を整えました。これから夏野菜の栽培に意欲的に取り組んでいきます。畑の整備にご協力くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



**4年生**

#### 総合的な学習の時間「海岸のごみを拾おう」

4月に出かけた海岸の、ごみが多く落ちている様子を見て「海岸のごみを拾いたい」という思いをもった子どもたちは、協力してごみ拾いを行いました。

ごみを拾う中で子どもたちは、ごみの種類や数など様々なことに気づきました。子どもの気付きを大切に、子どもと共に学びをつくっていきます。

